



全道各地から多くの方々にお集まりいただきました。

令和6年6月14日(金)、道民活動センタービルにおいて、北身協の定時総会を開催しました。

令和6年度『定時総会』

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 藤田 孝太郎
札幌市中央区北2条西7丁目(かでの2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円



ご来賓 … 保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 徳田泰則課長

冒頭、藤田会長から、昨年5月から新型コロナウイルス感染症が5類となり、ようやく通常の事業が実施できるようになってきた。また、令和3年度からの新たな事務局体制も役員とともに様々な検討を重ねて、ようやく軌道に乗ってきたものと感じている。北身協が今後とも関係機関や会員の皆さまと知恵を出し合いながら、協会が更に発展していくよう努めて行くこと等について挨拶を行いました。

◆第1号議案 令和5年度事業報告
事務局から北身協実施事業等を中心に説明が行われました。
◆第2号議案 令和5年度決算報告
事務局から経常収益、経常費用の主な科目の増減の要因、公益目的支出計画の状況などについて説明が行われました。



議長は、室蘭身体障害者福祉協会 政田一美会長です。

続いて、ご来賓の北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 徳田泰則課長から総会開催に当たってご祝辞をいただきました。
その後、議長として、室蘭身体障害者福祉協会会長 政田一美氏が選任され、議事に入りました。

◆監査報告
白幡代表監事から令和5年度事業報告及び決算並びに理事の業務及び公益目的支出計画実施報告に關して、適正に執行されている旨の監査報告が行われました。
議長より第1号議案・第2号議案及び監査報告について質疑を求め、質疑がなかったため、第1号議案、第2号議案及び監査報告について諮ったところ、賛成多数で承認されました。
なお、会長から、監査について、今年度から中間監査を11月に実施することが、理事会で決定されたことの報告がされた。

◆報告事項(1) 令和6年度事業計画
◆報告事項(2) 令和6年度収支予算
◆報告事項(3)
令和6年度正会員の会費
事務局から令和6年度事業について、一覧表で全体事業を説明し、事業計画については、当年度の主な事業概要についてを、収支予算では、道の補助や委託は前年ほぼ同額であること、また、当年度の加盟団体の会費について、説明が行われました。

議長より、報告事項については、賛否を問うものでなく特に採決を求めないものとする旨の宣言がありました。

釧路地区身体障害者福祉協会

「令和6年度
第1回理事会及び総会」

令和6年5月14日(火)、釧路市生涯学習センターまなぼとと幣舞において、理事7名、代議員2名、監事1名の出席により開催されました。

【議案】

- 1 令和5年度事業報告
及び収支決算報告
 - 2 令和5年度会計監査報告
 - 3 令和6年度事業計画案
及び収支予算案
 - 4 令和6年度会長表彰について
 - 5 令和6年度役員改選について
 - 6 その他
- (第72回全道身体障害者福祉大会弟子屈大会について)



「第1回 理事会及び総会」の様子

上記の議案について審議がなされ、令和5年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度会計監査報告ともに承認されました。令和6年度事業計画案及び収支予算案についても原案とおりに承認されました。令和6年度会長表彰の推薦については石田会長より、推薦者の更なる掘り起こしを呼びかけられています。

今年度は第72回全道身体障害者福祉大会が釧路管内弟子屈町での開催になります。北身協とともに釧路地区身体障害者福祉協会が主催となるため、6月末の実行委員会に向けて活発な意見交換がなされました。大会当日の全体会議で審議される「要望事項」についても、地域において交通事故などの危険がある場所などを挙げられる声がありました。

【令和6年・令和7年度役員】

- 会長 石田正義 (再任・白糠町分会長)
- 副会長 矢代雅寛 (再任・釧路町分会長)
- 監事 濱野則子 (再任・白糠町事務局)
- 監事 猿渡美子 (再任・白糠町事務局)
- (新任・浜中町分会副会長)

「障がい者パソコン教室」
伊達身体障がい者福祉協会

6月5日(水)、伊達市民活動センターにて、パソコンボランティアプラザ室蘭の工藤恵美子氏と西野美樹子氏を講師にお迎えし、障がい者パソコン教室を開催しました。



講師の方々が、参加者ひとりひとりにていねいに教えてくださいました。

昨年に引き続き2回目の開催でしたが、今年は1日目のみの開催でしたので、パソコンの簡単な操作方法を学びながら、オリジナルのマグカップづくりをしました。パソコンを使って好きな画像を選び、大きさ等を調整しシール台紙にプリントして、配置等を工夫してマグカップやふたに貼るという作業工程です。イラストや花や動物、中にはワインやグラスなどをデザインする方もいました。

参加者同士、久しぶりの再会ということもあり、昼食時間とともに過ごしたり、出来上がった作品を囲んで会話が弾み、楽しいひとときとなりました。



素敵な作品ができました。

文芸

俳句

岩見沢市

池田

敏雄

蓬餅丸める母を想いけり

手先まで汗のヨサコイ踊りかな



盲ろう者通訳・介助員
現任研修

6月8日・9日と、22日・23日に「盲ろう者通訳・介助員養成講座」を修了して登録している方を対象とした現任研修を開催しました。今年2回の開催となつて2年目、今年も受講希望者は定員に達する数となりました。

様々な設定での事例を学びます。



1日目の午前は、「事例検討など」ということで、事前に受講者からアンケートを取っていた「聞きたいことや取り上げてほしい内容など」についての答えや具体的に説明を行いました。実際に派遣依頼を受けて活動した方も、これから活動する方も、通訳・介助者の目線で様々な疑問点や問題点を感じているということがわかりました。



エスカレーター

通訳・介助の現場ではよく使う場面であり、受講生から最も希望の多い実習内容でもあります。ペアを組む相手を交代しながら、各々とても意欲的に熱心に取り組みんでいます。



エレベーター

午後からの「移動介助の応用」では、道庁別館の階段・スロープ・エスカレーター・エレベーターを使って、それぞれの場面に応じた介助方法を学びました。



階段とスロープ



安心安全の移動介助をします。

近くの植物園や電気店や道庁周辺の歩道や駐車場の出入口などで、路面状況や、人や車への配慮や、危険回避をしながら、盲ろう者が安心安全の移動ができるようにするための介助技術の実習です。

車に気をつけて横断歩道を渡ります。



2日目の午前は、屋外にて「移動介助演習」を行いました。

座学だけではなく、実際に現場を想定しての実習は、緊張や不安も伴いますが、体験を通して得るものは多く、受講生たちからは講師の方々への感謝の声が多く聞かれました。養成講座や現任研修で学んだことは、通訳・介助員としての活動だけではなく、日々の生活の中で困っている方々へ一歩踏み出す勇氣にもなります。街中や近所で何か困っている方を見かけた時は、何かお手伝いできることはなにか、心を寄り添っていただけだと思います。



複数の盲ろう者が集まる場面

午後からは、「複数の盲ろう者が集まる場面での通訳・介助実習」ということで、障害に応じた通訳・介助方法だけではなく、状況に応じた通訳・介助内容となることを学びました。

道新コスモス奨学金 奨学生からの感謝のお便り

今年度の奨学生からお便りが届きましたのでご紹介します。
※学年・お名前等は非公開とさせていただきます。

南幌養護学校

「けんがくりよこう」
ぼくは、とうきょうにけんがくりよこうにいきました。ひこいきが、たのしかったです。いじょうバスもたのしかったです。ホテルもたのしかったです。ゆーしよくがおいしかったです。デイズニールンドでは、スプラッシュマウンテンが、たのしかったです。カレーがおいしかったです。パレードがたのしかったです。ベイマッドクスのバツグをいただきました。うれしかったです。また、ひこいきにのつてみました。こんどはかぞくとりよこうにいきたいです。

釧路養護学校

いただいた奨学金で学習に必要な物を買いたいと思います。残り少ない学校生活を楽しく学んで友達と仲良くして、将来の為に力をつけたいと思います。

岩見沢高等養護学校

この度は奨学金をいただき、ありがとうございます。これからも勉強がんばります。

今金高等養護学校

「三年間を振り返って」
三年間を振り返って、特に思い出に残っていることが二つあります。

一つ目は、見学旅行です。初めての東京は広くて驚きを隠せませんでした。自主研修では野球が好きなメンバーで集まり、夢だった東京ドームに行けたことが本当に嬉しかったです。

二つ目は、全国特別障害者スポーツ大会（サッカー競技）への参加です。私はスポーツ部に所属しており、この大会で初めてキーパーを任せました。とても緊張しましたが、PKを止めたことが一番の思い出です。

このような経験の中で、集団行動や色々なことに挑戦することの大切さを学ぶことができました。

充実した学校生活を送ることができたのは道新コスモス奨学金運営委員会の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

ありがとうございました。



一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社
札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(011)241-0986

有限
野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(011)221-1406

株式会社
馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の二
札幌市北七条七丁目
札幌市母恋北町一三の六
室蘭市富士見一五の九
釧路市富士見一五の九
電話(011)238-3156
電話(011)274-1333
電話(011)335-2935
電話(0154)413546

株式会社
田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(011)277-7777
帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(0155)271-4895

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店-
岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H-Sビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メーブル元町1F
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビルF
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中町3丁目25-1 11ビル
お問い合わせ
フリーダイヤル **0120-231-282**
本営業部 **岩崎電子株式会社**
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

有限 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目二二二-114六
電話代表(011)221-1550 番

バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください
NPO 法人
砂川つばさ
砂川市東五条南四丁目二一十二
FAX 電話(011)255-7416
FAX 電話(011)255-7416

特定非営利活動法人
ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光星ビル
TEL(011)748-1620
FAX(011)748-1621

◆障害者支援施設
◆障害福祉サービス事業所
◆特別養護老人ホーム
◆障害児通所支援事業
◆救護施設 他
施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい
社会福祉法人
北海道光生舎
☎079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

社会福祉法人
北海道宏栄社
〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話(011)341-2511
FAX(011)341-2913

会員募集中!!

北身協では札幌と旭川を除く全市町村で
身体障害者活動にご理解いただける会員を
募集しております。
詳しくは市町村役場障がい担当窓口まで!!